

Vol. **120** 2019. 5 (隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会

<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>

相談支援事業所
いっしょん
介護支援センター
やんばる
ヘルパーステーション
いっしょん
社会福祉法人
一心福祉会
地域支援室



撮影者：宮城 武尚
地域支援室スタッフ
～よろしくお願ひ致します～

地域支援室開設 訪問介護事業スタート

ヘルパーステーションいっしん開設までの流れ

— 一心療護園施設長 金城英子

2019.4.1

皆さんとチームワークを密に福祉サービスの向上に努めて参りたいと思います。



訪問介護事業につきましては、平成十二年介護保険スタート時から大宜味村社会福祉協議会が運営を担い「ヘルパーステーションくがに」として地域の皆様から親しまれた名称で村内外のニーズに応えてきましたが、平成二十九年五月サービ

規事業開設に向けて平成三十年八月、村住民福祉課、地域包括支援センター、村社協と意見交換を行いました。又、社会福祉法人名護学院へも出向いて協議を行い、地元

報告がありました。

この場を借りてお礼を申し上げます。

その後、十一月には、事前協議を終え平成三十一年三月本申請を経て、介護、予防、居宅介護の三つの指定を受けました。今後とも、ヘルパーの



福祉に関するご相談お待ちしております。

地域支援室

室長 高江洲 千秋

四月より介護支援センターやんばる(介護)・相談支援事業所いっしん(障害)・ヘルパー事業所いっしんの三事業所が国道五十八号線沿いに事業所を構え、地域支援室としスタートすることになりました。地域支援室では、福祉や生活課題、サービスに関する相談に応じ、地域で暮らしている高齢者や障害のある方そのご家族が、住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いできればと思います。

地域の相談窓口として、お気軽にご相談ください。

訪問介護事業

管理者 平良 七子

四月から新しい訪問介護事業に採用された平良七子です。

訪問介護に携わってまだ四年ですが、たくさんの方に支えていただきこのように村内で訪問介護ができる事に感謝しています。大宜味村社協で二十年以上続いた歴史を引き継いでこれからも地域のために頑張りますので、ヘルパーさん共々どうぞよろしくお願いいたします。



理事長より辞令を受け取る職員

辞令交付式

新年度のスタートとなる四月一日に一心福社会の辞令交付式が一心療護園にて執り行われました。

理事長より新年度の挨拶があり、そのあと常務理事より事業計画が報告され、その後、昇任された五名の職員・新たに正職員として採用された八名の職員が理事長より辞令を受けた後、参加した全職員も各施設長より辞令を受け、心あらたに新しい年度を向かえました。



新人研修

平成三十一年度新人職員研修が四月二十六日(金)一心療護園にて開催されました。

今回の新人職員研修は、二十名の職員が参加、前半は、法人沿革・就業規則等の説明及び先輩職員による体験談発表、後半は、「私たちの理想の法人職員像とは」をテーマにワークを展開、自分と向きあってみよう、グループ内での理想の職員像を作成、発表してもらいました。

短いワークでしたが、チームアプローチの体験を通して仕事をする上での具体的な目標を持つことができたと思います。

和気あいあいとした雰囲気の中、新人同士交流も出来、有意義な研修となりました。

感染症研修

手洗いの基本を学び直し

施設内研修(やんばるの家 看護師主催)

四月十九日(金)午後七時から一心療護園会議室において、株式会社SARAYA 照屋さんを講師にお招きし「高齢者介護施設におけるインフルエンザ対策」をテーマに施設内勉強会を開催しました。

講師から「ウイルスは自分で歩いて施設内には入ってこない。感染源は外部からの侵入が主である。持込みしないこと。」と話がありました。講話の後は実際に汚染させた手指を石鹸でマニュアル通りに洗浄し専用の機器で洗い残しが無いか確認しました。時間をかけて洗浄しても指の又や手首のしわに洗い残しが確認され、丁寧な洗浄の大切さを学びました。持ち込まない広げない感染防止に再度学びなおした勉強会となりました。



今日の学び

ウイルスを持ち込まないことが大事です！

やんばるの家

会 族 家 除 掃 大 会 総

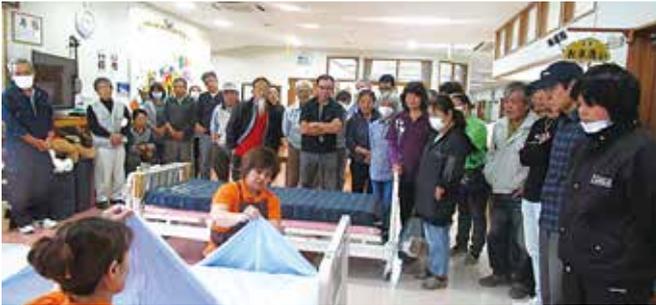
四月十四日、小雨の降る中七十一名のご家族の参加がありました。

施設長の挨拶、家族会会長の挨拶の後、ベトナムメイキングの手順を職員が説明し各居室へ向かい窓ガラス拭きや床のモップ掛け衣類の整理等、行いました。

最近個室が多い中、二人部屋の利点を生かし、ご家族同士が助け合いながら掃除する様子や世間話をする様子等終了、和やかに行われました。

作業終了後、四十七名のご家族が出席し定期総会を開催しました。

ご家族の皆様、ご協力ありがとうございました。



職員によるベトナムメイキングの説明



沢山のご家族が参加された総会

いっしんの裏庭の菜園では今回、ジャガイモ、サヤエンドウの収穫ができました。ジャガイモは去年より不作となりましたが食材として調理には工夫して利用し、サヤエンドウは煮物等にし美味しくいただきました。他

菜園 収穫

小規模 いっしん

童謡 コンサート

一心療護園

四月二十二日、地域の有志のグループによる、唄の会が開催されました。ギターや電子オルガンの演奏に合わせ、利用者の方も一緒に童謡や懐メロ、歌謡曲を歌い楽しい時間を過ごしました。



夕食の食材にサヤエンドウを収穫しました。

に、キャベツ、大根、人参、春菊、ニンニク、葉野菜等も収穫、利用者さんの食材の足しに利用者



ジャガイモ、何に料理するかね？楽しみね！

さんより大変好評でした。菜園は次の作物の準備をしています。



戸口笛はなぜ遠くまで聞こえるの～♪



みんなで唄うと楽しいね！





素敵な笑顔で ハイ、ポーズ！

四月の余暇活動では、少し足を延ばし、大宜味村喜如嘉のオクラレルカ見物に出掛けました。あいにく天気は晴天とまではないものの、穏やかな気候で、ゆつくり花見をすることが出来ました。その帰り道に結の浜公園で車を止め皆さんで、おやつ休憩をしてのんびり過ごしてきました。日頃、来ることのない街並みを見ながら利用者の皆

春のミニドライブ

小規模 あがり



オクラレルカ畑でリフレッシュしてきました

さんも「きれいな所だねえ〜」「とても広いねえ〜」など景色を見て楽しんでおられました。寺本 麻紀子



デイサービス

デイサービスでは三月四、五日につつじ 見物にでかけました。まだ、つぼみのつつじが多く三分咲きというところでした。色がとりどりのつつじの花に利用者の皆さんは「綺麗だね」「花見ると癒されるね」「色んな色が有るね」と話され楽しまれました。又、離島から見物に連れていた二十代の女性の方達から「何歳ですか、若いですね」と話し

GHきじよか ありがとうを込めて

昨年度もいろいろな交流会がありました。中でも喜如嘉保育所の子供たちとの交流は、可愛い子供たちの満面の笑みで私達を元気にしてくれました。楽しいひと時を過ごせたことに感謝の気持ちを伝えたいと利用者様からプレゼントをする。と：沖繩に古くから伝わるすべての悪をはねのけ健康を祈る「サン」を、「わーかーまーに...」と一人ひとりが心を込め結び上げ、袋には「またあそ



結び上げナーサン



同級生同士談笑

びにきてね」とメッセージを書きました。この地域ならではの繋がりが継続できるようにこれからもサポートしていきたい思います。



色とりどりのつつじの花の前で

かけられ会話がはずみ楽しいひと時を過ごされていきました。



3・2・1 ハイ、チーズ！

四月八、九日の二日間喜如嘉の水田地帯(タープク)へオクラレルカの花見へ出かけました。あいにくの曇り空でした。今年は開花が早いそう。今年今週末が見ごろということでした。水田一面に咲く紫色のオクラレルカの景色に利用者の皆様は「きれいだね、凄いい」と感動し花見を楽しませていました。自宅に生きたいと購入される方もいました。又、喜如嘉にお住まいの利用者、稲福茂夫さんも散歩にいられて一緒に記念撮影に加わりました。

オクラレルカ見物



謝名城出身
やんばるの家人所者
金城 ヒデさん (87歳)



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

サングラス姿、きまっています！

辺土名高校を卒業して知人を頼って那覇で就職しました。市内のガープ川の水上市舗の二階で船場貿易商会という小さい個人商店の事務員でした。寝具類(マットレスなど)を日本本土から仕入れて各商店から注文を取り配達していましたが国際通りは怖いので運転はしませんでした。ガープ川沿いにはたくさんのお店があり給料をもらったらよく、友達と食事に行きました。オリオン通りに『久松食堂』という有名な店があり、おいしかったです。休みの日には『山形屋』『大越』などのデパートに買い物に行きました。『大越』の側の映画館には大好きな映画を見に行きました。平和通りには『なみさと』という雑貨販売店や、やんばるのかたが居る軍払い下げの店もありました。



波の上海上プールにて

「おばさんは当時としては珍しいキャリアウーマン。飛んでる女性に見えました。友人たちからは頭が良く、投てきで活躍するなどスポーツマンでゴルフやボーリングも挑戦したと聞きました。色々な所へ遊びに連れて行ってくれたり、ごちそうをしてくれました。おばさんがいたから自分たちは成長できたと思います。生年祝には親戚一同で功労賞を贈りました。」

ヒデおばさんに感謝！

(姪和美より)



おばさん、かわいかったです。ありがとうございます。(姪の和美さんと)

実家の長男は亡くなって、妹は嫁いでいたので、家を継いで母親を看ることにになり大宜味に引き揚げてきました。最後まで家で母を看取り、親孝行できたと思います。結婚はしませんでした。結婚がなかったので悔いはないです。
(本人より聞き書き)



他者の意見にも真剣に傾聴しました



各グループ個性豊かな意見が沢山でした。

三月十三日にえすの里拠点全体で、平成30年度「虐待防止研修会」を開催しました。事前に施設内人権侵害防止に関するチェックリスト(職員用)を配布し記載しました。研修では虐待のサインに気付く(早期発見)などについてグループ

えすの里

〜平成30年度 虐待防止研修会〜

「虐待のサインに気付く！」
活発にグループ討議も

討議形式で行われ、各グループの発表まで行いました。普段の利用者との関わり方など振り返る場となりました。また、職員以外に実習生も一緒に参加し意見交換するなど有意義な時間となりました。

グループホームつつじ苑 一周年記念



開所一周年記念にて、推進委員：比嘉勝正氏よりお祝いのお言葉を頂く。

平成三十年四月に開所し早一年が経ちます。御利用される方も九名と満床となり、毎日楽しい日々を過ごしています。御利用者様に大病もなく元気に一年を過ごすことができたのも、健康管理の徹底・インフルエンザの流行時期に御家族・地域の皆様に協力をさせて頂く事が出来たお陰だと感謝の気持ちでいっぱい

です。本当にありがとうございます。四月一日(月)に、つつじ苑一周年をご利用者様・法人理事長・施設長・推進員の比嘉様、石原様と祝うことができました。ささやかなセレモニーではありましたが、皆で祝うことができ良い一年の始まりとなりました。



つつじ苑開所記念 絵画贈呈



大城正秀先生よりつつじ絵画の贈呈

つつじ苑の開所記念で大城正秀先生より絵画の贈呈がありました。施設を中心とした風景画・つつじの花をデザインした絵と三作品の贈呈があり、御利用者様からも「きれい」「つつじのピンク色が生えていいね」等と喜びの声が上がっていました。大城先生は、同法人の他事業所にも絵画の贈呈をされておりとても感謝しています。当施設では、つつじの花がメインになっているきれいな風景画を玄関先に飾り来訪者を迎えています。

就労センターえすの里&GH えすの里

ソフトバレー大会&お楽しみ会



今年度、今まで頑張ってきた利用者さん・職員の労いと年度最期のお楽しみ会と称して、利用者さん・職員全体でソフトバレー大会とお楽しみ会(慰労会)を開催しました。ソフトバレーは三チームに分けてリーグ戦を行い、どの試合も白熱した試合で大いに盛り上がりました。バレー大会後は、就労センターでお楽しみ会を行い、バレー大会の表彰式と送別会等も行いながらお互いに今年度の労を労い、次年度に向けまた一致団結する良い機会になりました。



トス・アタック・レシーブ! すごく上手です



みんなで記念撮影 ハイポーズ

花にいやされて ~ No.1 ~



(和紙ちぎり絵アート：一心療護園 大見謝 智子)

アートコンテスト
「願いのくるま」



見事
入選
しました!

えすの里
徳元 和樹さん

絵を描くことが趣味になりそう



新緑の塩屋湾を元気に
駆け抜けました。

トリムマラン大会

塩屋湾 — えすの里 —

◆◆◆◆◆ 一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況 ◆◆◆◆◆

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	38名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	2~3名	0名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	3名	0名
小規模多機能ホーム あがり (☎0980-43-2344)	25名	5名	0名
グループホーム きじよか (☎0980-44-3015)	9名	0名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	0名	2名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

平成31年 4月25日現在